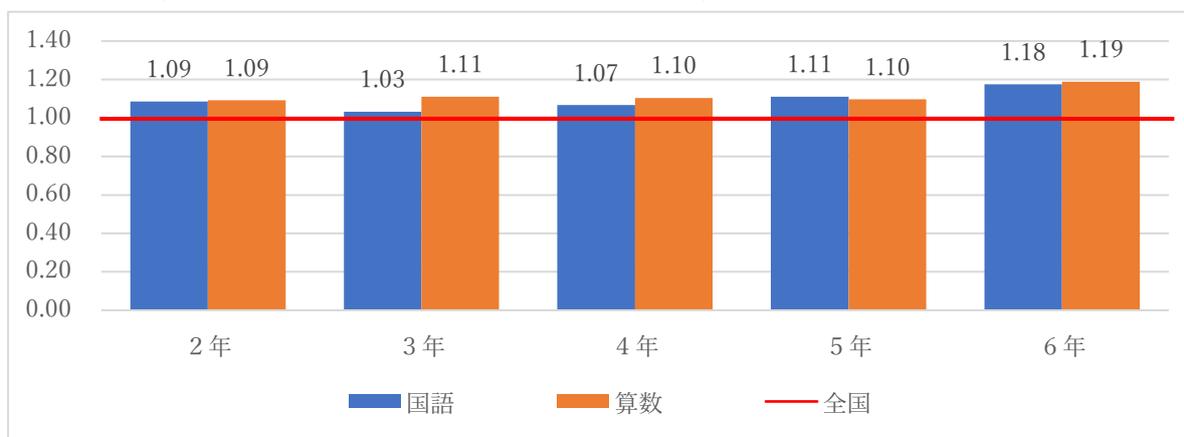


令和5年度 全国学力・学習状況調査及び学習到達度調査について

友呂岐中学校区 石津小学校

○調査結果（全国平均を1とした場合の平均正答率の比）



※小学2～5年生は学習到達度調査、小学6年生は全国学力・学習状況調査の結果

○調査結果についての分析、今後の改善方策

学習到達度調査	国語	長文読解の問題や条件作文の問題、語彙力等に課題が見られた。各学年において、宿題等で復習する機会を設けるとともに、漢字や言葉の力の定着に丁寧に時間をかけたり、作文に取り組む際にも条件を設けた上で取り組んだりしていくことで改善を図る。
	算数	基礎基本的な計算や数学用語の意味理解および、図形領域等に課題が見られた。各学年において、宿題等で復習する機会を設けるとともに、基礎基本の確実な定着に時間をかけることの大切さを校内で再確認し、更なる学力向上に力を注いでいく。
全国学力・学習状況調査	国語	与えられた条件の下で作文する問題に課題が見られた。普段の学習で条件作文に取り組み、課題改善を図る。
	算数	本校は図形領域の問題を不得手としている児童が多い傾向にある。低学年より系統的な指導に取り組み、豊かな図形感覚の育成に努めていくことで課題改善を図る。
	質問紙	「将来の夢や目標をもっていますか」という質問項目に対して、肯定的な回答の割合が全国平均値を下回っていた結果から、校内のキャリア教育の更なる充実を図っていくことで改善していく。

○学力向上の取組

【 中学校区 】

校区学力向上部会にて調査内容の分析を行い、成果と課題を明確化し、校区全教職員で共有する。今後も、9か年を通じた児童生徒の学力向上に取り組み、校区で協働して系統的にディベート活動の取り組み、キャリア育成も図っていく。

【 学校 】

今年度も校内の研究教科を「算数科」とし、自分の考えたことを相手に伝えるように表現する力の育成に取り組んでおり、一定の成果が認められる。更なる成果をあげるために、言葉の力の育成や基礎基本の確実な定着に取り組んでいくことに努める。その1つの手だてとしてディベート教育を積極的に活用していく。